

委員会レポート

市民生活部 決算審査



◇不法投棄廃棄物回収委託料について

問 前年度と比較し、回収量と経費、件数は。

答 不法投棄回収量は、令和4年度9070kg、令和3年度1万1450kg。経費は、令和4年度379万円、令和3年度355万円。

巡回回数は、令和4年度190回、令和3年度185回。

◇ロコモニデイバス運行事業について

問 南部地域の急行便実証実験の結果及び評価は。

答 一日の乗車人数目標値80人に対して、達成率が5割程度だったため、公共交通活性化協議会で検討・評価の結果、急行便は導入しない。令和5年度は現状のまま運行。

問 今年度、東部及び北部ルートで説明会を行う予定は。

答 令和5年11月末まで、南部地域でデマンド型乗合送迎サービスの実証実験を行うっており、その検証・評価結果を踏まえ、各地区で

説明会を行うっていく予定。

◇協働のまちづくり推進事業・自治会支援金について

問 全自治会に対して支援金の交付はされたか。

答 区長・区長補助員へ相談しながら交付決定したので、市内の自治会へ交付できていると考える。

問 どのように使用されたか。

答 自治会費等の全額または一部を減免、集会所等の改修、防犯カメラの設置などに活用したと報告された。

◇結婚活動支援事業について

問 開催回数、参加者数は。

答 令和4年度の開催回数は1回。

問 男女合わせて17人の参加で、3組のカップルが成立。

問 参加の傾向や課題は。

答 女性の参加者が集まらない傾向。
女性参加者が興味を持つような企画や、どのように多くの人に周知させるかが課題。

健康福祉部 決算審査



◇単位老人クラブ支援事業について

問 令和3年度から4年度にかけて10クラブ激減している要因は。

答 会員の高齢化、福寿会への入会を希望しない、役員が重荷など。

問 支援金の減少に伴い、今後1クラブへの支援金増額やクラブ人数要件の緩和は。

答 福寿会連合会とも意見交換を行い、調整を図っていききたい。

◇地域生活支援事業・相談支援事業委託料について

問 増加傾向をどのように捉えるか。

答 精神障がい者からの相談が増加。

問 事業所からの相談は。

答 民間の相談支援事業所から業務委託の相談。
問 相談後の検討は。

答 具体的な計画等の有無を確認し、障害者相談支援事業実施要綱を満たすことが可能か判断する。

◇保育所管理運営事業・おむつの回収業務について

問 利用者や保育士の反応はどうか。

答 保護者及び保育士の負担が軽減され、総体的に好評を得ているので、次年度以降も継続して実施していきたい。



▲おむつ回収ダストボックス

教育部 決算審査



◇スクールカウンセラー・教育相談事業について

問 スクールカウンセラー報酬511万4500円は、年間1022時間9人となっているが、年間で児童生徒及び保護者の相談件数は。

答 令和4年度で、児童生徒から412件、保護者から321件。

問 スクールカウンセラーの配備で問題が解決しているか検証は。

答 教職員と相談する時間がこれまで以上に持て、充実が図られている。

討論・採決



認定第1号、第3号、第4号、第5号、第6号に関して反対討論がありました。付託された議案は全て原案を了承しました。